

Frontliner

[フロントライナー]

株式会社日本保健衛生協会
第1事業部
サニタリーグループ
発行責任者/有本由伸

スタッフの皆さん、日々の業務にご尽力いただきありがとうございます。

4月になり新年度が始まりました。

コロナ禍で迎える春も今年で3回目。感染収束の気配はまだ見えません。それでも、大きなランドセルを背負ったピカピカの1年生や真新しいスーツに身を包んだ新社会人の方たちを街で見かけると、なんだかこちらも清々しく明るい気持ちになります。

昨今は新型コロナだけでなく、ウクライナ侵攻やエネルギー需給、気候変動など、世界は多くの社会問題を抱えています。すぐには解決しない問題ばかりですが、新しい門出を迎えた次代を担う若い人たちとともに、この困難な状況は乗り越えていけるものと信じています。

春の全国交通安全運動

2022年 4月6日～15日

春の全国交通安全運動が実施されます。

新しく学校に通う小学1年生や、自転車通学を始めた中高生が増える4月は交通事故が多く発生するそうです。

また5月から7月は、それ以上に交通事故が増える傾向にあるようです。5月は通学に慣れて油断が出てくる頃。7月は夏休みで交通量が増え、かつ梅雨や台風などの天候不良が原因で事故が増加するとのこと。

私たちが通勤するときや帰宅するときには、交通ルールを必ず守り、みんなで交通事故をなくしましょう！

自転車またはバイク通勤をされている方は、通学路や子ども飛び出しが多い住宅街では、とくに慎重な運転を心がけましょう。

春の全国交通安全運動

- 実施期間 2022年4月6日(水)～15日(金)
- 交通事故死ゼロを目指す日 2022年4月10日(日)
- 運動の全国重点
 1. 子供を始めとする歩行者の安全確保
 2. 歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上
 3. 自転車の交通ルール遵守の徹底と安全確保

●自転車・バイク運転の注意事項



この手は本当にキレイなの？

スタッフの皆さんは、新型コロナ感染が拡大する前から、清掃作業の際に手洗いを行っていたと思います。ただ手洗いの結果は目に見えないので、正しく手洗いができたかどうか分かりませんでした。今回は、手洗いした後、汚れはどのくらい残っているのか(落ちているのか)、数値で検証してみることになります。

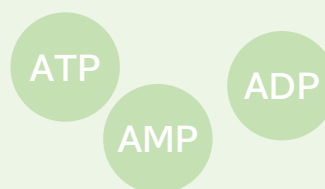
汚れの測定方法

手洗い後にどれだけ汚れが残っているかを測定するために、「ATPふき取り検査」を用いて確認することとします。

手の汚れは「ATP、ADP、AMP」を測定する

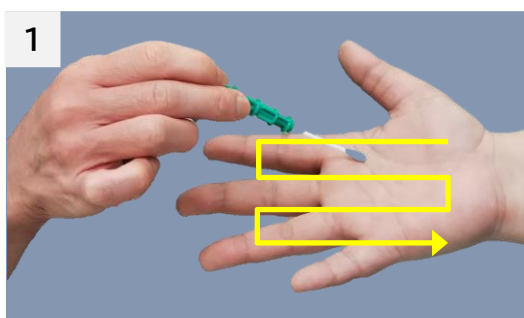
目に見える汚れはその場で確認することができますが、目に見えない汚れはその場では分かりません。今回は手洗い後の汚れがどれだけ残っているかを測定しますので、目に見えない汚れを見逃してはいけません。そこで ATP(アデノシン三リン酸)、ADP(アデノシン二リン酸)、AMP(アデノシン一リン酸)という3つの物質を、目に見えない汚れの指標とします。これらが残っていると、食中毒やアレルギーの原因となる恐れがあります。

●手洗い後の汚れの指標

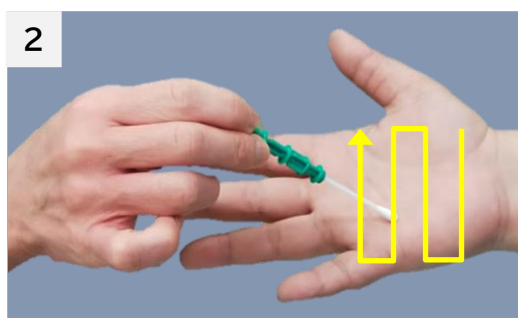


ATP、ADP、AMP が多く検出されれば、微生物が増殖する栄養源(=汚れ)が多く残っていることになります。ただし、**微生物の量だけを直接測定することはできません。**

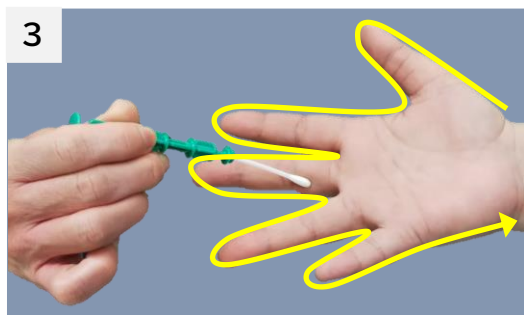
ふき取り検査の方法



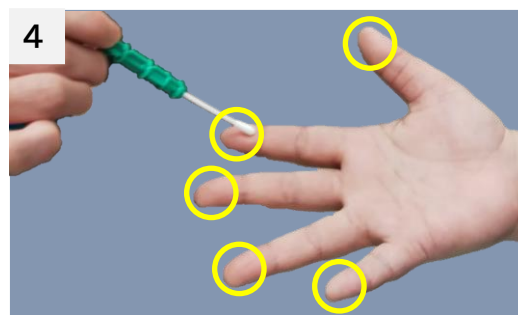
1 手のひらを縦に5往復ふく



2 手のひらを横に5往復ふく



3 指の間をふく



4 指先をふく

ATP ふき取り検査の実施

検査対象と方法

当社の清掃スタッフ7名(手術室清掃担当)の手指を検査対象としました。

ATP ふき取り検査は、ルミテスターSmart(測定器)とルシパック A3Surface(試薬)(ともにキッコーマンバイオケミファ社製)を用いて検査を行いました。

グループ A(清掃スタッフ7名のうち4名)は、通常どおりの手術室清掃(術間清掃)を1室行ったあと、ニトリル手袋を外して手のひらの ATP を測定しました。その後、手洗い石鹸と流水で通常の手洗いを行ったあと再度手のひらの ATP を測定しました。

グループ B(清掃スタッフ3名)は、手袋を着用せずに、備品の補充や一般ごみの回収などを行ったあと、手のひらの ATP を測定しました。その後、手洗い石鹸と流水で通常の手洗いを行ったあと再度手のひらの ATP を測定しました。

管理基準値

手洗い後の ATP 測定の基本値は以下のとおりです。
(値が大きいほど汚れている)(単位:RLU)

合格 : 2,000 以下

要注意 : 2,001~4,000

不合格 : 4,001 以上

検査結果と考察

下表のとおり、正しい手洗いを行えば、目に見えない汚れも管理基準値以下まで十分に落とせることができました。

手袋を着用していても手は汚れるということも数値で明らかになりました。手袋を着用していると手に汗をかくので、手袋無しよりも ATP の値が大きくなったと思われます。したがって手袋は手洗いの代わりにはなりません。手袋を外した後は必ず手洗いを行いましょう。

表. 清掃スタッフ7名の ATP ふき取り検査結果

グループ A(手術室清掃、手袋着用)				
	スタッフ①	スタッフ②	スタッフ③	スタッフ④
作業後	11,913	28,305	30,254	30,717
手洗い後	1,013	301	1,628	426
結果	合格	合格	合格	合格

グループ B(備品補充、手袋無し)			
	スタッフ⑤	スタッフ⑥	スタッフ⑦
作業後	6,005	8,592	4,875
手洗い後	1,187	3,560	702
結果	合格	要注意	合格

現場での盗難に要注意

先日、当社スタッフが現場の更衣室で盗難被害にあいました。
こうしたケースは犯人が特定されず、そのまま泣き寝入りとなってしまうことが多いそうです。
私たちができることは限られますが、被害にあわないように日ごろから対策を講じておくことが大切です。

ロッカーに鍵をかけても 安心できません

当社スタッフが、現場の女性更衣室のロッカーで、現金の盗難被害にあいました。その更衣室は当社だけでなく、他の出入り業者の方も使用しており、人の出入りが多くあります。そのスタッフは毎日その更衣室を利用しており、もちろんロッカーには鍵をかけていました。
ところが、業務を終えて更衣室で帰宅準備をする際に、盗難があったことに気がつきました。ロッカーは無理やり開けられたような形跡はなく、財布から現金のみが盗まれていました。

職場での盗難リスク ゼロではありません

皆さんの現場ではどうでしょうか。
更衣室や個人用のロッカーが用意されている現場もあれば、更衣室や詰所はあるけれどもロッカーはない現場、他の人と共同でロッカーを使用する現場など、それぞれの職場で異なります。
ただしロッカーが用意されていても過信は禁物です。鍵をかけておかないと、勝手にロッカーを開けられて盗難にあう可能性があります。また今回のケースのように、**ロッカーに鍵をかけていても盗難にあう**こともあります。
盗難リスクを減らすには、現場の中だから安全、安心だと決めつけないことが大切です。

貴重品の管理は 自己責任

現場で盗難にあっても、残念ながら会社や先方(お仕事している現場)に責任を追究することは難しいです。

基本的に**貴重品の管理は自己責任**となります。
現場が指定した場所に貴重品を保管していたにもかかわらず盗難にあった場合は、現場に責任追及できる可能性もあるようですが、そういったケースでも責任追及は難しいそうです。

●盗難被害を防ぐには

貴重品を現場に持ち込まない

財布には必要最低限の現金のみを入れ、カード類は入れない。
あるいは仕事用とプライベート用に財布を分けておく。

ロッカーの鍵を必ずかける

日ごろからロッカーを施錠する習慣をつけておく。
鍵を閉め忘れたり、鍵を挿したままにしたりしないよう注意する。

かばんのファスナーは閉める

かばんのファスナーが開いていると中身が見えやすいので、物を盗まれるリスクが高まる。

●もし盗難にあった場合

当社担当者に連絡する

犯人の特定は難しいですが、現場と協議して対策を講じます。
また確かな証拠もないのに、同僚スタッフや先方従業員の方などを犯人と決めつけて問い詰めたりしないようにしましょう。名誉毀損で訴えられてしまう可能性もあります。

警察に被害届を出す

犯人を捕まえる可能性は低いかもしれませんが、被害届を出すと警察による現場検証や指紋採取が行われ捜査が始まります。
今後の盗難を防止する効果もあります。

業務連絡

現場から送付していただく「清掃資材等発注書」に現場名が記載されていないことがあります。現場名がなければ資材の納品が遅れます。記載漏れがないようご注意願います。